

インピーダンス

日本共産党通研支部 <http://impedance.sakura.ne.jp>
jcp.impedance@gmail.com

No. 2749 2025年 12月 8日
定価 1部 10円



「国民医療を守るための総決起大会」11月20日、都内

診療報酬の改定率が12月末に決まるのを前に、日本医師会や日本病院会など医療・介護・福祉43団体でつくる国民医療推進協議会は11月20日、都内で「国民医療を守るための総決起大会」を開き、診療報酬の「大幅なプラス」

を求める決議を上げました。決議は、物価・賃金の急激な上昇に医療や介護、障害福祉等の報酬改定が追いついておらず、医療機関や介護事業所などの経営状況が逼迫していると指摘。「適正化等の名目により、医療・介護の財源を削って財源を捻出する」という方法でこれ以上削減されれば、地域

国民医療を守れ 医師会など43団体総決起

の医療・介護の崩壊は避けられない」と危機感を示しています。その上で、▽今年度補正予算での補助金と診療報酬・介護報酬等の両面からの早急な対応▽来年度の診療報酬改定をはじめ、来年度予算編成での大幅なプラス▽財源を純粋に上乗せする「真水」による大規模で抜本的な対応——を求めています。

武蔵野市民が血中のPFAS 調査 受けた住民半数にリスク



発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)が東京都の

水道水源の地下水を汚染している問題で、武蔵野市の住民ら47人が自身の血液中の濃度を調べたところ、約半数の23人が、健康へのリスクが高いとされる米国の指標1ミリットルあたり20ナノグラムを超えました。11月29日に結果を公表しました。

調査した田村嘉彦・むさしの共立診療所所長は、水道水からPFASをとり入れている可能性が高いと強調しました。

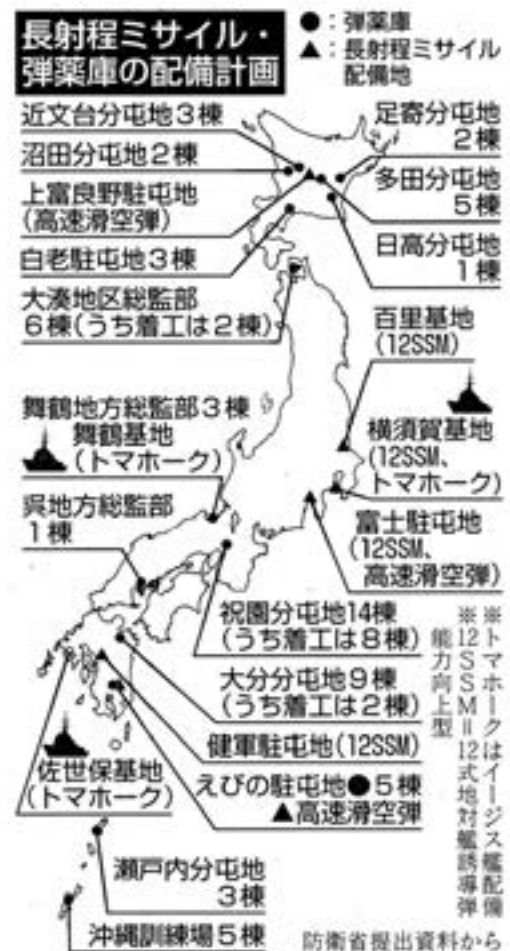
米軍は、立川市や福生市などにまたがる横

田基地でPFASの漏れ事故をたびたび起こしています。地下水に乗り東側に汚染が広がっている可能性があります。基地の東に当たる武蔵野市は水道水量の7割に井戸水を使用。うち二つの井戸で今年、国の暫定目標値(1リットルあたり50ナノグラム)を超え、PFASを検出、取水を止めています。

片山さつき財務相のパー券問題。「今日1日の政治資金パーティで金融業界にもパー券を販売していた」「財務相は金融行政に職務権限があるので重大だ」「パー券は2万円、1000人規模という」「大臣規範に抵触する」「これも赤旗のスクープだが、最近『文

職場から

【ついでに】



今週の数字

報道現場の多様性が「メディアの信頼につながる」

日本女性記者協会 設立記念フォーラム

国内の女性記者のキャリアアップや、ニュースの価値判断に多様な視点を加えることなどを目指し、昨年11月に設立された「日本女性記者協会（JWJA）」は11月22日、設立記念フォーラムを東

京都内の日本プレスセンターで開催し、約120人が参加しました。

秋山理砂代表理事（神奈川新聞社理事）は挨拶で、「日々のニュースを送り出す意思決定を、多数を占める男性

非核三原則見直しに強く抗議 日本被団協が内閣府に声明

日本原水爆被害者団体協議会は11月20日、「高市内閣の『非核三原則』見直しに強く抗議

し『非核三原則』の堅持、法制化を強く求める」とする声明を発表し、内閣府に送りました。

声明はこれまでの政府見解を覆して見直し議論を開始したことに抗議、日本政府に対し、非核三原則の法制化、核兵器禁止条約への署名・批准、原爆被害者への償い、核兵器も戦争もない人間社会に向けて世界の指導的役割を担うことを強く求めています。

が行っている」とした上で、性別や年齢、地域など多様な背景を持つ



読者が必要とするニュースを届けるためには、メディア側にも多様性が必要で、それ

がメディアの信頼と発展につながる」と強調しました。

新聞社や放送局などに勤める女性記者ら約270人に行った調査も報告され、昇進機会について男性記者の方が多いという答えは45・8%で、女性記者の方が多いは1・4%にとどまりました。

科学ヒックス

10分連続の散歩の効果確認

米内科医会の医学誌（10月27日付）

豪シドニー大学などの国際研究グループは、歩行と心臓血管系の病気を発症するリスクの関係を調べました。

研究グループは、1日8000歩未満しか歩かず、心臓発作や脳卒中、がんを患っていないなかった40〜79歳の3万3560人に1週

間装置を付けてもらい、どのように歩いたかを測定し、その後の健康状態を平均8年間追跡しました。

その結果、一度に10〜15分以上歩く人が心臓血管系の病気を発症するリスクは、5分未満しか歩かない人の3分の1以下であることがわかりました。

15分以上連続して歩くことによる健康効果は、1日5000歩以下の人でも表れたとい

【職場からの続き】

春砲』と並んで『赤旗砲』といわれている」

議員定数削減問題。『自民と維新は法案提出で合意した』日本の議員定数は主要国のなかでも圧倒的に少ないよ

『定数削減は国民の声を切り捨てることになる』『いま議論すべき



は企業・団体献金の禁止だ」

「流行語大賞」に高市首相の「働いて働いて働いて働いて働いてま

いります／女性首相」が選ばれた。「なんでこんなのが選ばれるの？」「長時間労働を奨励するようなものだ」「裏金問題を無視した

『そんなことより』の方がよかったのではないか」「高市発言を皮肉った楽曲『そんなことより』がSNSで評判になっ

てきている」

熊の被害が続いている。『駆除もやむをえないのかもしれないが、市街地で子どもが見ているところでの親子熊射殺はいかがなもの

か』『外国で、自治体の責任で電気柵を張り巡らせ、餌となる柿の木などを伐採し出現をほぼゼロにしたとテレビで報道していた」

× ×

「急に寒くなった」「東北、北陸では大雪だ」「高齢者の家庭では、雪かき、雪下ろしがとても大変だ」「皇帝ダリアがうす紫の大き



な花を咲かせている」

「あちこちの駅前でイルミネーションが美しい」「代々木公園がすごいらしい。一度見てみたい」

読書

邪馬台国の全解決

孫栄健 著

言視舎

¥1680

邪馬台国の謎が「全解決」かどうかは差し置き、興味深いのは「三国志」を著した陳寿の時代には「春秋の筆法」という独特な史書の記

述法があったと言うのである。

その筆法とは孔子が著した「春秋」の叙述伝統を中国史書が引き継ぐもの。権力者に不都合な出来事も隠して書き上げること、史学者たちは歴史の流れを紡ぎ続けたという。

「魏志倭人伝」など歴史の解明は、深い史実知識をもとにした謎解きであるようだ。（H）

インピーダンスにカンパをお願いします

インピーダンス編集委員会